



人生・農業 リセット再出発!

RESET RESET RESET 第11回



国際線航空会社乗務員・作家
黒木安馬

1950年熊本県生まれ。高校在学中にAFS奨学生で米国留学後、早稲田大学を経て航空会社に入社。業界の常識を破る「カラオケ・フライト」を企画して計7便飛ばし、後に北島三郎による「世界初1万メートル上空機上コンサート」も実現させる。自宅は28歳の時に1300坪の土地を開墾して2年半がかりでプールを手作りし、テニスコート、コンサートホールも造る。自宅ステージでは加藤登紀子、山下洋輪、坂田明、尾崎紀世彦など多くのライブやピカソ展を企画し、地域活性化触発運動「グループ・ザ・田舎のちあ」を主宰している。多くの実体験に基づいた人生成功哲学の講演や著書は大手企業でも人気を博して乗務の間をぬって全国を飛び回っている。著書に「面白くなくちゃ人生じゃない!」(KKロングセラーズ)、「出過ぎる杭は打ちにくい」(ワニブックス)、「リセット人生再起動マニュアル」(ワニブックス)、「小説・球磨川」(ワニブックス上下巻)がある。E-mail: kuroki-yasuma@love.biglobe.ne.jp

「和して同ぜず」と孔子は

論語に書く。賢者は和して同ぜず、愚者は付和雷同、同じて和せず。賢い人は自分の定見と主体性を持ちつつも人々と調和し、愚か者は自分の一定の見識も無く他人に訳も無く賛同しつつ和も乱す。これが流行りだと誰かが言えばすぐに流され、上手いかなければ他人のせいで終わる。今、自分は何をしたのか、生涯どうあるべきなのかを見極めて目標を定めた人は顔つきも違う。失敗は成功への一里塚だと考える。

私もフライトが一日違えばニューヨ

ークの瓦礫に埋まっていたかも知れないが、世界的紛争はますます混迷を深めそうだ。日本の昨年度の企業倒産は1万8900件で負債総額26兆円とか。失業率はすでに5%を越している。米国が4%、英国が3%だから深刻なはずだが、リストラに応募する社員が殺到する企業も多い。マツダは1800人の希望退職募集に対して即日2210人が応募した。辞めて欲しくない有能な人材が多かったとか。問題は、退職してもその後は何をしたいのかが分からない人が圧倒的に多いことである。

日本最後の清流と言われている高知県の四万十川上流に小さな十和村がある。そこに37才の畦地履正青年がいる。農協を思い切って退職して「(株)四万十ドラマ」を94年に起こした。第三セクターの地域おこし会社で社長は西土佐村長、取締役は大正町長や十和村長などで、社員といえば実質本人ぐらいしかいない。都会の人とネットワークを組み一緒に本場の豊かさとはを求めると、田舎の情報発信と同時に都会からの提言を受けて商品開発と第一次産業の再構築を目指す。会員一人を目標に全国各地に支部作りを進めている最中で橋本大二郎・高知県知事も引つ張り出して東奔西走している。だから出来ない、ではなく、だからこそやれる、の逆転の発想はつい応援してやりたくなる。

ある人物の話。22才で事業に失敗、23才で州議会議員に落選、25才でまた事業に失敗、26才で恋人に死なれ、27才で神経症にかかる。34才から立てて続けに3回も下院議員に落選、46才で上院議員に落選、47才で副大統領になろうとするが失敗、49才で上院議員にまた落選…。何とも悲惨である。が、51才でアメリカ合衆国大統領になる。その名は、アブラハム・リンカーンである。

知識の差は小なり、行動の差は大なり。